

# アネスト岩田株式会社 2023年3月期2Q 決算補足説明資料

2022年11月9日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

堅調な海外売上、国内値上げ（下期より）、経費統制にて通期予想を修正。下期は部品含む在庫の適正化を推進

売上高：22,613百万円（前年比 +2,253百万円、+11.1%）

営業利益：2,340百万円（同 -38百万円、-1.6%）

エアエナジー  
事業

- インドでは汎用機に加えて特定市場※向けオイルフリー圧縮機の売上が堅調に推移  
中国ではロックダウンの影響を受けるも、現地子会社のSCR社などは業績回復
- 半導体関連装置向け真空ポンプの需要は落ち着きを見せるも売上は前期並みで推移

売上高：13,701百万円（前年同期比：+1,587百万円、+13.1%）

営業利益：1,330百万円（同 +80百万円、+6.4%）

営業利益率：9.7%（同 -0.6pts） ※特定市場：医療、車両搭載、分析などの特定用途

コーティング  
事業

- 海外を中心に、スプレーガンを主とした塗装機器の売上が伸長
- 塗装設備の受注残は下期に売上予定。来期受注残の獲得を含めた活動を継続

売上高：8,911百万円（前年同期比：+665百万円、+8.1%）

営業利益：1,009百万円（同 -118百万円、-10.5%）

営業利益率：11.3%（同 -2.4pts）

(注) 1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

2.日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生

- ・1Q比では良化傾向も、国内値上げ以前の2Qでは原材料費高騰の影響が残り、営業利益は微減益
- ・外部環境には変動要因が多いが、堅調な海外販売状況と為替レートの見直しにより通期計画を上方修正

■ 売上高は、海外市場（特に欧州及びインドを主としたその他のエリア）が牽引。為替の影響は+1,403百万円

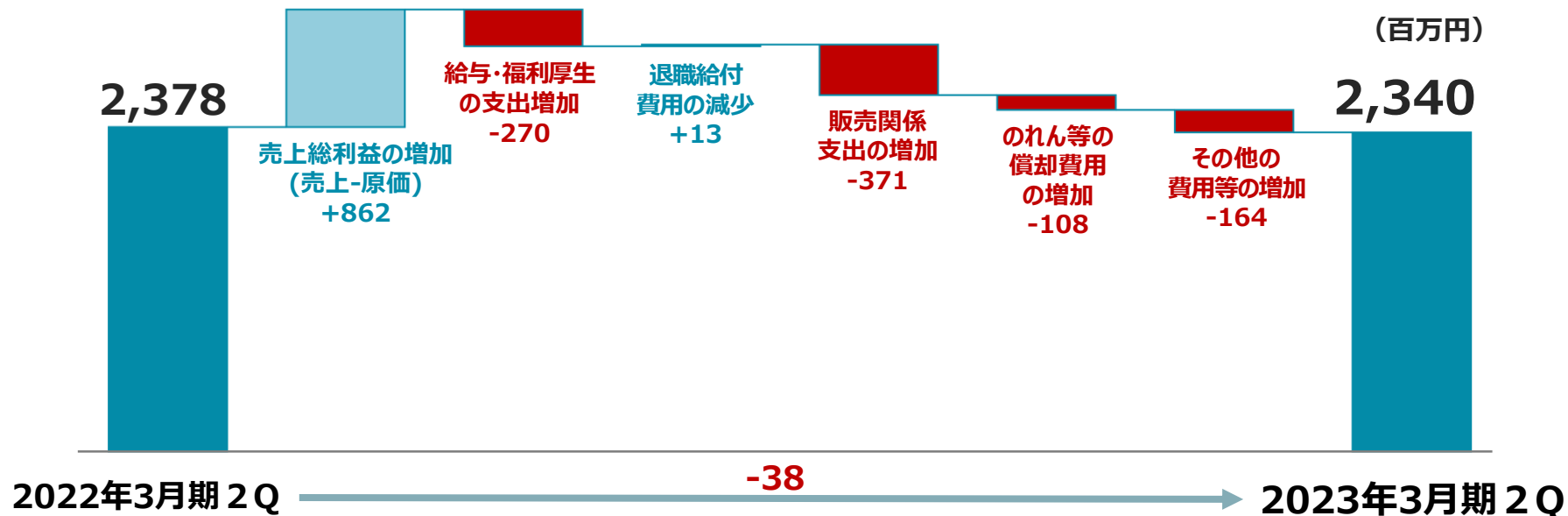
	2022年3月期2Q		2023年3月期2Q		前年同期比			2023年3月期業績予想			
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (pts)	5月10日発表（上期）		5月10日発表 （通期）	11月9日発表 （通期）
								予想値 (百万円)	進捗率 (%)	予想値 (百万円)	予想値 (百万円)
売上高	20,360	—	22,613	—	+2,253	+11.1	—	21,500	105.2	44,000	48,000
営業利益	2,378	11.7	2,340	10.3	-38	-1.6	-1.3	2,430	96.3	4,900	5,000
経常利益	2,670	13.1	3,098	13.7	+427	+16.0	+0.6	2,750	112.7	5,650	6,200
親会社株主 帰属純利益	1,688	8.3	1,973	8.7	+285	+16.9	+0.4	1,700	116.1	3,580	3,650
平均為替レート 円/米ドル	107.69 円		122.89 円		15.20 円 円安			118.00 円		133.30円	
平均為替レート 円/ユーロ	129.82 円		134.25 円		4.43 円 円安			137.00 円		138.27円	
平均為替レート 円/人民元	16.66 円		18.94 円		2.28 円 円安			18.50 円		19.78円	

【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値（下記にて通貨割合は反映されていません）

1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

売上原価率は継続して上昇57.1%

販売管理費率は海外経費の統制などにより 32.5% (1Q時 35.6%比較では低下)



[+] 売上高の増加 : 22,613百万円 (前期比 +2,253百万円)

[-] 売上原価の増加 : 12,917百万円 (同 +1,390百万円)

- ・増加分のうち売上高増加に伴う影響額+1,250百万円における為替影響額 +780百万円
- ・原材料費や物流費などの増加を含めた影響額 +120百万円

[-] 販売管理費の増加 : 7,355百万円 (同 +900百万円)

- ・旅費交通費やリアル展示会参加などに伴う広告宣伝費は、実需に見合った活動へ統制継続も増加
- ・海外における人件費の増加
- ・営業改革関連のソフトウェアに係る償却費用の増加、減価償却費は+95百万円

# 1Qに続き、新型スプレーガン販売の効果や特定市場向け圧縮機の販売拡大などに伴う効果により海外売上が好調に推移（売上比率:65.1%）

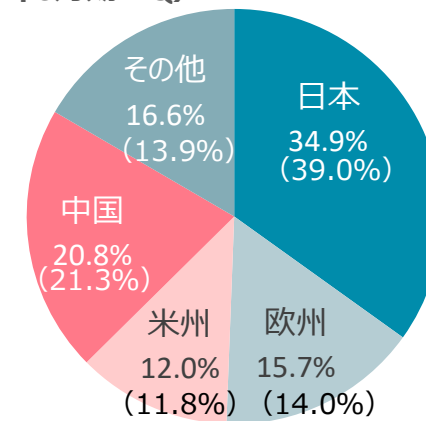
- 日本** ■ 減収。圧縮機用部品の供給遅延は正常化の傾向。半導体関連装置向けのポンプ販売は一服感。塗装設備は客先都合による納入延期案件を含め、下期計上予定の案件多数
- 欧州** ■ 増収。自動車補修市場向け新型スプレーガンの発売及びオイルフリー圧縮機の販路開拓に伴い売上増加
- 米州** ■ 増収。事業の譲受に伴うアメリカの自動車補修市場並びに他の市場へ向けたスプレーガンなどの売上増加
- 中国** ■ 増収。ロックダウン解除後の経済活動再開に伴う汎用圧縮機や塗装機器の売上増加。SCR社製スクロール圧縮機の販売注力。塗装設備製造の「東莞阿耐思特岩田機械有限公司」を清算し、塗装機器製造子会社と統合
- その他** ■ 増収。汎用圧縮機に加えて、戦略が奏功しているインドの医療・車両搭載向け圧縮機や東南アジアにおける塗装設備の売上増加

【セグメント区分】現中期経営計画の策定に伴い、当連結会計年度より所在地別セグメントの区分方法を変更  
 欧州:従来のヨーロッパにロシアを追加、米州:アメリカ、メキシコ、ブラジル、その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

(百万円)	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	増減額	増減率(%)	エアエナジー事業		コーティング事業	
					圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	7,932	7,890	-42	-0.5	△	▼	△	×
欧州	2,848	3,560	+712	+25.0	◎	◎	◎	-
米州	2,407	2,704	+297	+12.3	○	◎	◎	◎
中国	4,336	4,710	+373	+8.6	◎	◎	◎	×
その他	2,834	3,747	+912	+32.2	◎	△	◎	◎
合計	20,360	22,613	+2,253	+11.1	◎	◎	◎	×

(前年同期比) ◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▼ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

■ 構成比  
2023年3月期 2Q  
(2022年3月期 2Q)



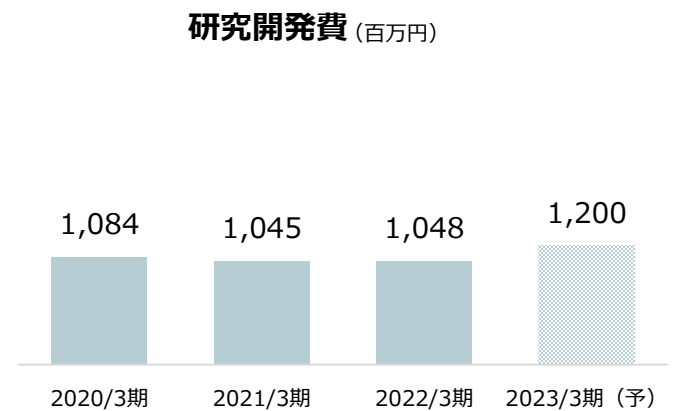
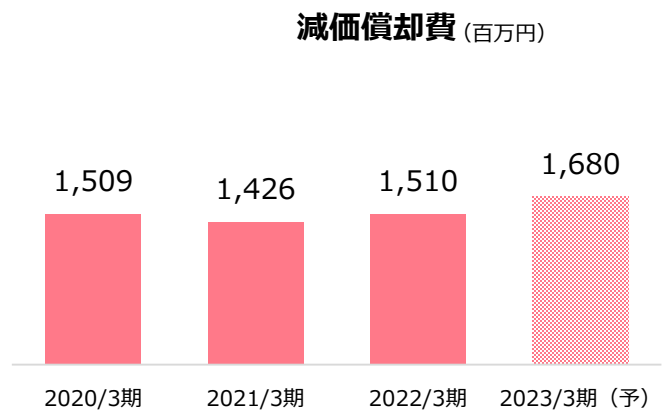
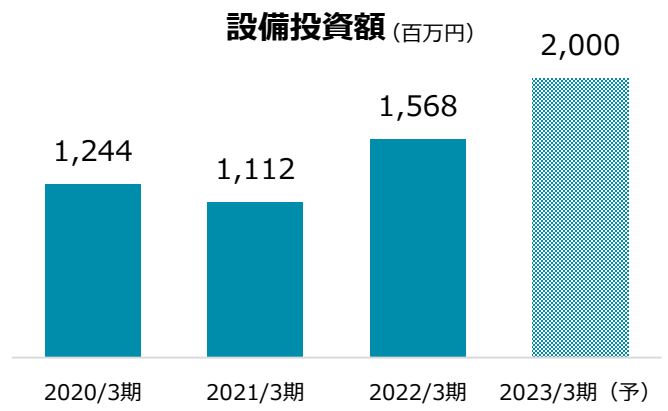
- ・世界的な部材不足に対して安定供給を目的とした戦略により流動資産は増加傾向。下期は在庫適正化へ
- ・円安進行の影響を受けて大幅に純資産が増加

		2022年3月期	2023年3月期	対前期末差異		
		通期期末	2Q	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
資産	流動資産	34,326	35,920	+1,594	+4.6	・「現金及び預金」の減少 -752百万円 ・「受取手形及び売掛金」の増加 +1,388百万円 ・「原材料及び貯蔵品」の増加 +1,146百万円
	固定資産	21,492	23,274	+1,781	+8.3	・「建物及び構築物（純額）」の増加 +669百万円
	<b>資産</b>	<b>55,818</b>	<b>59,194</b>	<b>+3,375</b>	<b>+6.0</b>	
負債及び 資本	流動負債	11,616	11,972	+356	+3.1	・「支払手形及び買掛金」の増加 +612百万円
	固定負債	3,992	3,213	-778	-19.5	・退職給付信託の設定により「退職給付に係る負債」の減少 -988百万円
	<b>負債</b>	<b>15,608</b>	<b>15,186</b>	<b>-421</b>	<b>-2.7</b>	
	株主資本	34,582	35,703	+1,120	+3.2	
	その他の包括利益 累計額	1,040	3,086	+2,046	+196.7	・為替換算調整勘定の増加 +2,026百万円
	非支配株主持分	4,586	5,218	+631	+13.8	
	<b>純資産</b>	<b>40,210</b>	<b>44,007</b>	<b>+3,797</b>	<b>+9.4</b>	
<b>負債・純資産</b>	<b>55,818</b>	<b>59,194</b>	<b>+3,375</b>	<b>+6.0</b>		

- ・設備投資においては、当社ウェブサイトのリニューアルが完了。ほぼ計画通りに進捗
- ・またアメリカの子会社において倉庫拡張を目的とした事務所移転に伴う費用460百万円を含む

(百万円)	2023年3月期 2Q実績			
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*	売上高
実績 (進捗率)	1,437 (71.9%)	853 (50.8%)	646 (53.8%)	22,613
計画	2,000	1,680	1,200	-
内容	・IT関連投資（製品サイトシステム、商品情報管理システムの構築） ・生産ラインの更新・増強 ・各種工作機械等（新設・更新） ・通信インフラ整備			

(注) 研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



10月からの値上げ(日本)で原材料費上昇分を転嫁のほか、円安効果に伴い通期業績予想を上方修正

		2022年3月期 (実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		42,337	100.0
エアエナジー	圧縮機	22,950	54.2
	真空機器	2,064	4.9
	小計	25,015	59.1
コーティング	塗装機器	14,451	34.1
	塗装設備	2,869	6.8
	小計	17,321	40.9
営業利益		4,780	11.3
エアエナジー		2,513	—
コーティング		2,267	—
経常利益		5,572	13.2
親会社帰属当期純利益		3,541	8.4
平均為替レート 円/米ドル		109.80	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		129.89	
平均為替レート 円/人民元		17.01	
配当：中間+期末 = 年間		13円 + 17円 = 30円	

2023年3月期 (予定)				
期初予想 (5/10発表)	修正後予想 (11/9発表)	構成比 (%)	対期初 計画比(%)	前年比 (%)
44,000	48,000	100.0	+9.1	+13.4
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
26,000	28,600	59.6	+10.0	+14.3
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
18,000	19,400	40.4	+7.8	+12.0
4,900	5,000	10.4	+2.0	+4.6
2,600	2,850	—	+9.6	+13.4
2,300	2,150	—	-6.5	-5.2
5,650	6,200	12.9	+9.7	+11.3
3,580	3,650	7.6	+2.0	+3.1
118.00	133.30	(想定)	15.30円 円安	23.50円 円安
137.00	138.27		1.27円 円安	8.38円 円安
18.50	19.78		1.28円 円安	2.77円 円安
16円 (15円) + 16円 = 32円 (31円)				

※ ( ) 内は期初配当予想値



- ・東欧の紛争を始めとする地政学的リスクの高まりなどにより、世界的に外部環境の想定は困難さを増している
- ・日本における値上げ及びその浸透や業務改革を継続し、収益力を高めることで増収増益を目指す

### 前提条件

売上高48,000百万円 (+13.4%)

- 欧州東部における紛争による資源価格の高騰などに伴う世界経済の減速
- 半導体や電子部品の供給不足が緩やかに解消
- 為替の想定レートを柔軟に見直し
- 日本を主とした塗装設備受注残の着実な納入
- 自動車メーカーの新車出荷遅延による影響少
- 海外を中心に圧縮機需要増加傾向は今期も続く

営業利益5,000百万円 (+4.6%)

- 前年度に続き、営業改革や業務効率の改善を継続
- 経費については、コロナ禍以前の水準へ戻さず利益を創出
- 原材料費や物流費の高騰に対して、日本において10月から値上げを実施

## 配当方針

- 成長投資の為の内部留保確保と安定配当の両立
- 配当性向は35%を目安

## 配 当

- 2023年3月期（予想）：配当予想にて増配修正を実施（2022年11月9日発表）

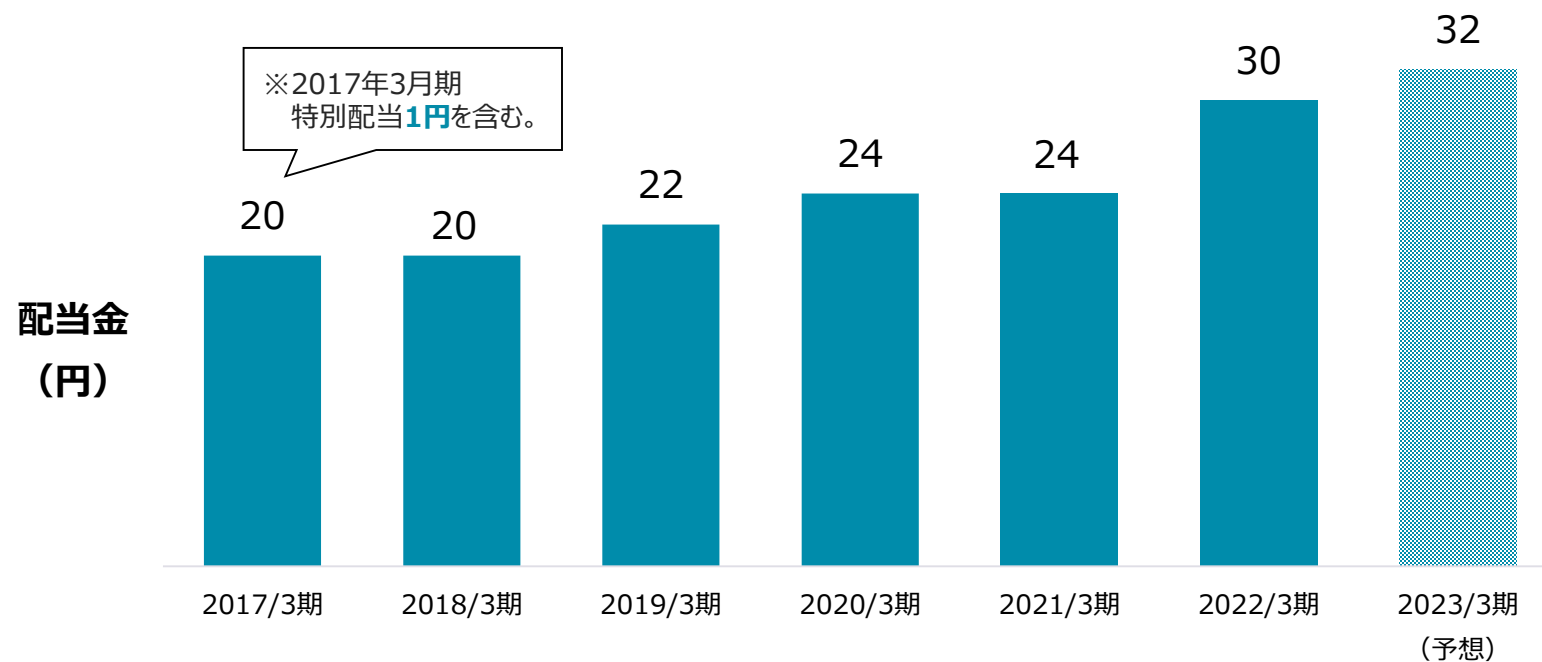
配当	中間	期末	年間
期初	15円	16円	31円
修正後	<b>16円</b>	<b>16円</b>	<b>32円</b>

## 自社株買い

- 今中期経営計画において、1,500百万円程度を計画

## 【1株あたり配当金の推移】

発行済株式数：41,745,505株



- ・営業利益：売上原価率は継続して上昇も下期改善を見込む。販売管理費率は1Q比較では低下
- ・経常利益：為替差益は前期比+504百万円
- ・特別利益：経営の効率化を目的とした中国子会社の清算により、56百万円発生

	2022年3月期 2Q		2023年3月期 2Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	20,360	—	22,613	—	+2,253	+11.1	—
売上原価	11,526	56.6	12,917	57.1	+1,390	+12.1	+0.5
売上総利益	8,833	43.4	9,696	42.9	+862	+9.8	-0.5
販売管理費	6,455	31.7	7,355	32.5	+900	+14.0	+0.8
営業利益	2,378	11.7	2,340	10.3	-38	-1.6	-1.3
営業外収益	338	1.7	806	3.6	+468	+138.4	+1.9
営業外費用	46	0.2	48	0.2	+2	+5.1	-0.0
経常利益	2,670	13.1	3,098	13.7	+427	+16.0	+0.6
特別利益	3	0.0	60	0.3	+56	+1573.0	+0.2
特別損失	4	0.0	3	0.0	+0	-16.3	-0.0
税金等調整前純利益	2,669	13.1	3,155	14.0	+485	+18.2	+0.8
法人税等	695	3.4	832	3.7	+136	+19.5	+0.3
非支配株主帰属純利益	285	1.4	349	1.5	+63	+22.3	+0.1
親会社株主帰属純利益	1,688	8.3	1,973	8.7	+285	+16.9	+0.4

【累計】

単位：百万円		2023年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
<b>売上高</b>		9,999	22,613		
前年同期比		+9.9%	+11.1%		
エアエナジー	<b>圧縮機</b>	5,583	12,586		
	前年同期比	+10.3%	+12.4%		
	<b>真空機器</b>	518	1,115		
	前年同期比	+25.8%	+22.0%		
<b>売上高</b>		6,101	13,701		
前年同期比		+11.5%	+13.1%		
コーティング	<b>塗装機器</b>	3,726	8,055		
	前年同期比	+12.5%	+12.6%		
	<b>塗装設備</b>	171	856		
	前年同期比	-45.9%	-21.4%		
<b>売上高</b>		3,897	8,911		
前年同期比		+7.4%	+8.1%		
<b>営業利益</b>		820	2,340		
前年同期比		-8.1%	-1.6%		
エアエナジー	<b>営業利益</b>	505	1,330		
	前年同期比	+12.9%	+6.4%		
コーティング	<b>営業利益</b>	315	1,009		
	前年同期比	-29.3%	-10.5%		

【3か月ごと】

単位：百万円		2023年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
<b>売上高</b>		9,999	12,614		
前年同期比		+9.9%	+12.0%		
エアエナジー	<b>圧縮機</b>	5,583	6,974		
	前年同期比	+10.3%	+13.6%		
	<b>真空機器</b>	518	625		
	前年同期比	+25.8%	+24.4%		
<b>売上高</b>		6,101	7,600		
前年同期比		+11.5%	+14.4%		
コーティング	<b>塗装機器</b>	3,726	4,329		
	前年同期比	+12.5%	+12.6%		
	<b>塗装設備</b>	171	685		
	前年同期比	-45.9%	-11.3%		
<b>売上高</b>		3,897	5,014		
前年同期比		+7.4%	+8.6%		
<b>営業利益</b>		820	1,519		
前年同期比		-8.1%	+2.3%		
エアエナジー	<b>営業利益</b>	505	825		
	前年同期比	+12.9%	+2.8%		
コーティング	<b>営業利益</b>	315	694		
	前年同期比	-29.3%	+1.7%		

## 「統合報告書2022」を発行（和文：2022年9月、英文：2022年12月公開予定）

ステークホルダの皆さまに当社への理解をより深めていただくためのコミュニケーションツールとして、統合報告書を毎年発行。トップインタビューや事業概況、ESGの取り組みなどを掲載。



### 新規コンテンツ（全67ページ）



- 中期経営計画「500 & Beyond」
- 事業概況 特集（環境問題解決への貢献、新たなビジネスの創出）
- サステナビリティ（推進体制、SDGs対応など）
- マテリアリティ
- 環境（TCFD対応）
- 社外取締役鼎談
- コーポレートガバナンス（取締役会/監査等委員会の活動報告）

URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp/ir/library/integrated-report>

# 塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業  
(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に  
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

圧縮空気で  
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用  
圧縮機として製造開始

製品の差別化を  
可能にしたコンセプト

・環境対応  
・塗面作成の提案力

・オイルフリー化  
・省エネ性



塗装ロボット



エアブラシ



製品の多様化  
用途の開拓

コーティング事業

塗装機器

スプレーガン、塗料供給  
ポンプなどの機器単体

塗装設備

塗装機器と換気や乾燥装置、  
塗装ロボットなどを  
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機

空気圧縮機、N2ガス発生装置、  
タンクなどの補器類

真空機器

真空ポンプ、バルブなどの  
補器類



オイルフリー  
スクロール型  
真空ポンプ



オイルフリー  
スクロール型  
圧縮機



## 将来見通しに関する記述及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先： アネスト岩田株式会社  
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室  
TEL: 045-591-9344  
E-mail : ir\_koho@anest-iwata.co.jp  
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>